

「都心部まちづくりビジョン」の策定について

1 趣旨

「都心部まちづくりビジョン～LRTを基軸とした公共交通と一体となった都心部の更なる活性化に向けて～」(案)を取りまとめたことから、その内容について検討するもの

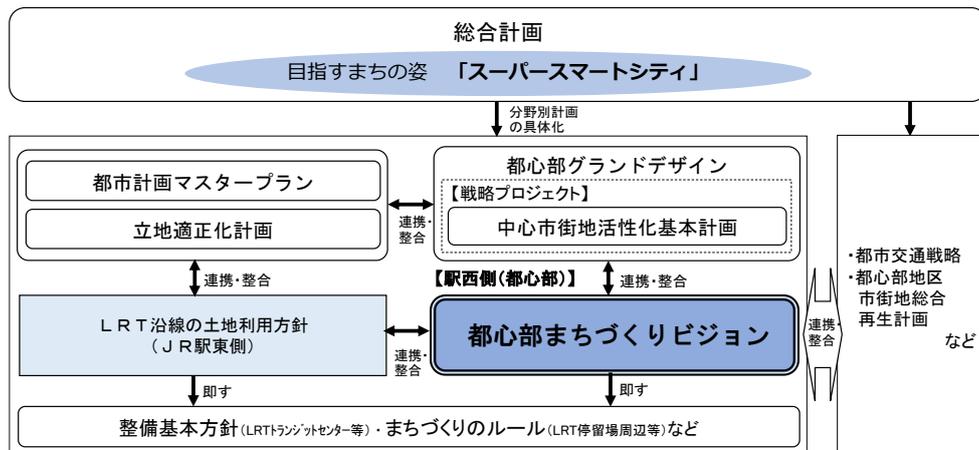
2 策定の目的

- ・ 本市が推進するネットワーク型コンパクトシティ（以下、「NCC」という）の形成において、公共交通ネットワークの構築に向けた都心部へのLRT導入やバス再編などの公共交通を充実していくことは、人や自動車の流れを変化させ、都心部の魅力やポテンシャルを大きく向上させる機会となることから、NCCの形成をより一層強化していくため、将来を見据えた都心部まちづくりに、官民が協働して取り組むことが必要である。
- ・ こうしたことから、本市が目指す「スーパースマートシティ」の土台となるNCCの形成をより一層推進するため、LRTを基軸とした公共交通と一体となった魅力ある都心部の目指すまちの将来像等を明らかにし、それに向かって市民・事業者・行政等が協働で取り組むべき都心部まちづくりのビジョンとして策定する。

3 位置付け

- ・ 中心市街地における長期的なまちづくり戦略である「宇都宮市都心部グランドデザイン」等と連携・整合を図りながら、LRTを基軸とした公共交通と一体となった都心部の魅力あるまちづくりに官民連携して取り組むための計画
- ・ 第6次宇都宮市総合計画の分野別計画「『交通未来都市』の実現に向けて」の基本施策「暮らしやすく魅力のある都市空間を形成する」を実現するための計画
- ・ 「スーパースマートシティ」の土台となるNCCの形成に資する都心部の拠点性を、より一層高めるための計画

※ 本ビジョンに掲げる取組を着実に推進することで、SDGsのゴール「8 働きがいも経済成長も」や「11 住み続けられるまちづくりを」等の達成にも貢献する。



4 策定経過

平成31年3月 芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会

まちづくりを担う多くの関係者と連携・協力し、LRTを基軸とした公共交通と一体となったまちづくりを進めていくため、専門部会として学識経験者や交通事業者、地元商店街、行政等で構成する「LRTまちづくり部会」を設置

令和元年 9月～ LRTまちづくり部会において検討（計8回開催）

5 目標年次

概ね10年先の令和12年（2030年）頃

6 計画の内容・特徴

(1) 内容

「都心部まちづくりビジョン」（案）……………別紙

(2) 特徴

本ビジョンは、JR宇都宮駅西側へのLRT導入やバス再編など、公共交通と一体となった魅力あるまちづくりが期待される都心部の目指すまちの将来像を市民・事業者・行政が協働して描くとともに、多様な主体が連携して取り組むべきまちづくりの方針などを取りまとめた。

ア 「宇都宮らしさ」をより高める新たな視点を持った都心部まちづくり方針を位置付け（別紙2ページ）

- 本市は、二荒山神社をはじめとした歴史資源、オリオン通りなどの商店街、田川・釜川などの自然、JRと東武の鉄道駅、様々な祭りやイベントとそれを担う人々が総体となり、多様な地域資源として「宇都宮らしさ」を形成している。
- こうした宇都宮らしさを受け継ぎ、より高めるため、大通り沿線の交通結節点などの各エリアにおける地域資源を活かした「ストーリー性のあるまちづくり」を基本に、「ポストコロナ時代」などを見据えた新しいまちづくりの要請に対応した居心地が良く、人中心の「ウォークラブルなまちづくり」や、都市や地域が抱える様々な課題を解決するため「ICTなどの先進技術の活用や脱炭素化を推進するまちづくり」、「多様な主体が連携した賑わいまちづくり」に取り組むこととした。

イ 都市全体に及ぶLRT等を活用した魅力あるまちづくりのイメージを明確化（別紙3ページ）

- 定時性・速達性に優れたLRTの特性により、大通りにおける移動の所要時間の信頼性が高まることで心理的な距離が短縮し、多様性のある一体的な空間の形成が期待される。
- こうしたことから、大通り沿線に様々な魅力あるまちの機能を充実するとともに、周辺地域から大通り沿線を軸とした都心部にアクセスしやすい環境づくりなど、LRTを基軸とした公共交通と一体となった魅力あるまちづくりに取り組むことで、都心部の充実した機能・魅力を都市全体で享受できるまちづくりのイメージを明確化した。

ウ 地域の成り立ちなどを踏まえたエリア別の将来像を導出（別紙6～7ページ）

大通りを交差する幹線道路等で区分した「沿線エリア」を設定するとともに、東武宇都宮駅やJR宇都宮駅などの交通結節点周辺と二荒山神社周辺のシンボル空間に「拠点エリア」を設定し、「宇都宮らしさ」を形成している各エリアの特性や成り立ちを踏まえた将来像を描くとともに、エリアが持つ資源や特色を生かした将来像実現に向けたまちづくりの方針を示した。

7 今後の予定

今後は、地元まちづくり関係団体等とビジョンの共有化を図りながら、ビジョン実現に向けた官民協働によるまちづくりを推進していく。



都心部まちづくりビジョン（案）

～LRTを基軸とした公共交通と一体となった都心部の更なる活性化に向けて～

令和4(2022)年●月
宇都宮市

＜目 次＞

第1章	背景と目的等	1
1.	ビジョンの背景と目的, 必要性	1
2.	ビジョンの位置付け	1
3.	対象エリア	1
4.	目標年次	1
5.	ビジョンの構成	1
第2章	目指すまちの姿	2
1.	都心部まちづくりの将来像	2
2.	目指すまちづくりのイメージ	3
3.	都心部まちづくりの推進効果イメージ	4
4.	エリア別の将来像	6
5.	エリア別のまちづくりの方針	7
第3章	実現に向けた取組イメージ	8
1.	まちづくりの取組イメージ	8
2.	主な取組のイメージ	9
第4章	目指すまちの実現に向けて	10
1.	市民・事業者・行政の役割	10
2.	まちづくりの進め方	11

＜検討経過＞

年 月	取組内容
平成31(2019)年 3月	芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会 (「LRTまちづくり部会」を設置)
令和元(2019)年 9月	第1回LRTまちづくり部会
12月	第2回LRTまちづくり部会
令和2(2020)年 2月	第3回LRTまちづくり部会
6月	第4回LRTまちづくり部会
6月	LRTまちづくりに関する意見交換会 (地域代表委員, 経済活性化委員, まちづくり委員)
7月	第5回LRTまちづくり部会
11月	第6回LRTまちづくり部会
令和3(2021)年 1月	第7回LRTまちづくり部会
令和4(2022)年 1月	第8回LRTまちづくり部会
2月	芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会

＜LRTまちづくり部会 委員等名簿＞

区 分	氏 名	役職等
学識経験者委員	望月 明彦	日本大学客員教授
	大森 宣暁	宇都宮大学教授
	山島 哲夫	前宇都宮共和大学副学長
経済活性化委員	檜原 貞亮	宇都宮商工会議所 常務理事
まちづくり委員	田辺 義博	宇都宮まちづくり推進機構 事務局長
	平手 義章	宇都宮市社会福祉協議会 常務理事兼事務局長
地域代表委員	宮本 隆昌	中央地域まちづくり推進協議会 副会長
	齋藤 高藏	宇都宮市商店街連盟 会長
	竹川 哲夫	みやヒルズ活性化委員会 会長
	齋藤 公則	宇都宮中心商店街活性化委員会 理事長
	市村 耕三	JR宇都宮駅西口地区まちづくり協議会 会長
行政委員	鎌田 秀一	宇都宮市副市長
	古谷 一良	芳賀町副町長
軌道運送事業者委員	中尾 正俊	宇都宮ライトレール株式会社 常務取締役
行政アドバイザー	栃木県県土整備部交通政策課長	
	栃木県県土整備部都市計画課長	
	栃木県警察本部交通部交通規制課長	
オブザーバー	東日本旅客鉄道株式会社大宮支社総務部企画室長	
	東武鉄道株式会社経営企画本部課長	
	関東自動車株式会社代表取締役社長	
	都市再生機構東日本都市再生本部まちづくり支援部担当部長	

